家庭数配布　北九州市立千代小学校（〒807－1112　八幡西区千代五丁目１７－１　℡617－4700）

千代小 学校だより

第１２号
学力特集号
令和３年１１月１１日発行
校長　谷口　幹夫

千代小学校の学校教育目標

「思いやりのこころをもつ
自立した子どもの育成」
～素直な心・笑顔のあいさつ・感謝の心～

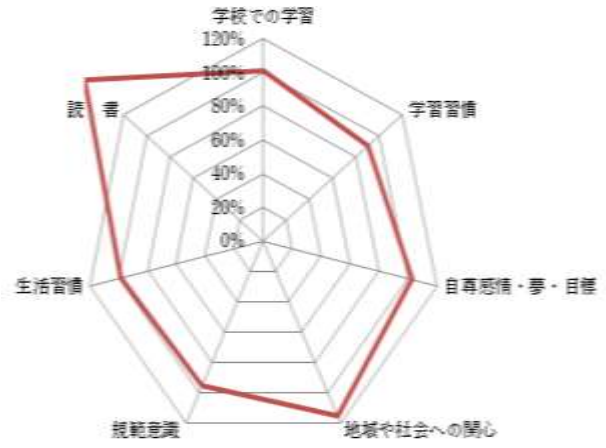
令和３年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」として、令和３年５月２７日（木）に、６年生を対象として、「教科（国語，算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

１．教科に関する調査結果の概要

教科	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語	・書くことに関する記述式の問題は正答率が全国平均正答率を上回っていますが、言葉の特徴や使い方に関する事項が全国平均正答率を下回っています。 ・目的や意図に応じて、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題の正答率が高い反面、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題の正答率が低かったです。	下回っています。
算数	・数と計算、図形の領域が全国平均正答率を上回っています。無解答率も低く、積極的に取り組んでいますが、変化と関係、データの活用の領域で全国平均正答率を下回っています。 ・二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する問題の正答率が高い反面、グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述する問題の正答率が低かったです。	同程度です。

２．学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じる児童が多いです。
・普段から読書をしている児童が増えています。しかし、家庭学習定着の取組である「自学」については、計画的・継続的に取り組んでいる児童は多くありません。
・自分にはよいところがある、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童の割合が高く、自尊感情が高まっています。
・普段のテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）の時間が１時間未満の児童の割合が全国平均よりも低いです。

３．調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

①　教科に関する取組

学力定着サポートシステム（３～６年）、MIM（１・２年）を活用し、児童の実態把握や基礎的な学習内容の定着に努めていきます。また、児童が更に考えを深め・広げ・課題解決につなぐような学びができるよう、学校全体で「聞くスキル」「話すスキル」の指導を丁寧に進めていきます。

②　家庭学習習慣等に関する取組

「自学」への取り組み方を書いた「がんばろう家庭学習カード」、すばらしい自学を紹介する「自学掲示板」に加え、定期的に「自学ノートコンクール」で頑張った児童を表彰し、家庭学習に取組む意欲を高めるようにしていきます。また、今後も、学年通信や学級通信を定期的に発行し、保護者に学習の様子や児童の頑張る姿を伝えるようにしていきます。